

CO・OP

京都の生協

2010/August/No. 72
京都府生活協同組合連合会



「核兵器なき世界」をつくるのは、
市民と非同盟諸国の協同の力!

——「草の根」活動が切りひらく核兵器廃絶への道すじ——

Talk Talk トークとーく

NPT（核不拡散条約）再検討会議への京都の生協代表参加のみなさん

京都生活協同組合 理事 ^{ゆ あさ み え こ}湯浅美恵子さん 京都生活協同組合 舞鶴行政区委員 ^{か な い か す え}金井和枝さん

京都大学生生活協同組合 留学生委員会 ^{り ゆ う えん げ つ}劉 琬月さん

京都府生活協同組合連合会 会長理事 ^{こ ば や し と も こ}小林智子

座談会

TalkTalk

トークとーく

「核兵器なき世界」をつくるのは、

市民と非同盟諸国の協力の力！

「草の根」活動が切りひらく核兵器廃絶への道すじ――

NPT(核不拡散条約)再検討会議への京都の生協代表参加のみなさん

京都生活協同組合理事

京都生活協同組合舞鶴行政区委員

京大大学生生活協同組合留学生委員会

京都府生活協同組合連合会 会長理事

湯 浅 美恵子さん

金 井 和 枝さん

劉 琬 月さん

小林 智子

ことし5月、ニューヨークで開かれた

NPT再検討会議は、「核兵器の完全廃絶への明確な約束」という言葉をふくむ最終文書を全会一致で採択しました。核保有国の反対で最終文書が採択できなかった5年前の会議にくらべて、きわめて大きな前進です。この「明確な約束」を引

き出した背景には、「報復ではなく核兵器廃絶にむけた協同を」と訴える被爆者と反核平和をもとめる市民運動、それに非同盟諸国や非核保有国のねばりづよい取り組みがありました。今回は、そのパワーを現地で実感してきた京都の生協の代表のみなさんとの座談会です。

京都生活協同組合理事
湯浅美恵子さん



NPT再検討会議への要請行動に参加した思い

小林 みなさん、まだニューヨークでの行動の感動もさめやらぬうちかと思えます

機について、おうかがいしたいと思います。

で、いまは京都大学経済学部3年生です。高校までく

が、まず、NPT再検討会議への要請行動に参加された動

機について、おうかがいしたいと思います。

た。私は、中国からの留学生として、中国の学校では、「原爆投下によって戦争が終わった」と教えられていたので、

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく座談会

「核兵器なき世界」をつくるのは、市民と非同盟諸国の協力の力！ ― 「草の根」活動が切りひらく核兵器廃絶への道すじ ―	2
「消費者支援機構関西 (KC's)」 通常総会	7
京都消費者契約ネットワーク総会、講演会	7
京都府消費生活安全センターと消費者団体との意見交換会	7

京都府生協連 第57回通常総会開催	8
2010年国際協同組合デー 第21回京都集会	10
ピースアクション京都2010	12

TOPICS

●農林漁業と食の府民講座	14
●災害ボランティア活動基礎講座	14
●福留志なさんを偲ぶ会	14

●京都グリーン購入ネットワーク総会、セミナー	14
●きょうと食育ネットワーク通常総会	15
●京の農産物あんしんネットワーク総会	15
●役員研修会を開催	15
おもな行事のお知らせ	16
探訪 日本の鬼の交流博物館	16

金井和枝さん



劉 瑰月さん



小林智子



私じしんも「正義の一発だ」と思い込んでいましたが、日本に留学して2年目の夏、大學生協連の「Peace Now! Hiroshima 2009」に参加して、その思い込みがくつがえされました。

広島で、戦跡や原爆平和記念資料館を見学し、被爆者の方がたの証言を聴くなかで、「原爆がこんなひどいものなんだって、ほんとうに知らなかった!」と大きな衝撃をうけました。

「核兵器はどんなときでも使ってはいけないものだ」とつよく認識しました。それで、今回のNPT再検討会議への要請行動にもぜひ参加したいと思いました。

金井 私は京都生協の舞鶴行政区委員をしています。小

学生ころ、8月6日といえば、夏休みのあいだの登校日で、先生や友だちと原爆や平和について話し合ったのにな、いまは登校日ではないんですね。子育てをするようになって、そのことに気づいて、それでいいのかと疑問を感じていました。

行政区委員になった5年前、ちょうど被爆・敗戦60年の「ピースアクションinヒロシマ」に参加して、「こんなに多くの人びとが平和をもとめて真剣に考えているんや。生協の活動でも、もっと平和について学ばなあかん。知らないままではあかん」と痛感

しました。

また、昨年参加した沖縄戦跡めぐりでは、沖縄戦を体験されたお年寄りが「もう二度とあんなことをくりかえしてはいけない」と話してください、「私も同じ思い。この思いをまわりに伝えていきたい」と考えるようになりました。

まさか私がNPT再検討会議への要請行動に参加できるとは思いませんでしたが、「自分の目で見届けたい」という、小さな炎のようなものが胸の奥にあったので、思い切って京都生協のNPT再検討会議への代表派遣企画に応募して、参加できることになりました。

ニューヨークでは、とても

貴重な体験をさせていただいたと思います。湯浅 私は、京都生協の理事になって3年目の2009年から、平和分野を担当しています。

それまでは、それほど深く平和運動にかかわっていただけではありませんが、平和活動の担当理事として、NPT再検討会議にむけた署名活動や学習会などに取り組んできました。

京都生協として理事会代表1人と組合員代表1人をNPT再検討会議への要請行動に派遣することになり、私が理事代表として参加することになりました。

エネルギーが100倍になったパレード——ニューヨークでの共同行動

小林 ニューヨークでは、どんな行動をされたのですか?

劉 はじまりは5月2日の「核兵器廃絶のためのNGO共同行動集会・パレード」です。30度をこえる暑さのなかでたいへんでしたが、アメリカ人らしき人に英語で話しかけると、なまりのある英語で

返事が返ってきて、アメリカ人じゃないのかとびっくりしました(笑)。

団体参加ではなく、1人と家族で来ている人が意外に多くて、これは今後の大きな力になるのではないかと思います。

その翌日から国連本部ロビ

ーで原爆パネル展「国連原爆展2010」がはじまりました。私たちは被爆者の方が

たといっしょにニューヨーク市内の中学校・高校・大学をまわって、証言活動とそのサポートをおこないました。

小林 パレードの写真を見

湯浅さんのよさこい衣装がとてもめだっていました。あれは金井さんのアイデアですか?

金井 そうです。というのは、舞鶴から送り出されるとき、みんなに「めだたなあかんで!」といわれたんです。たしかに、めだてばマスメデ

イアも取り上げてくれるだろうと思いました。舞鶴という地名にちなんで、平和の象徴である折り鶴の柄の衣装にしようと思いました。

湯浅 金井さんが「いっしょに着ませんか」とさそってくださって、私も着させてもらいました。

「私たちはアメリカ市民をうらんではいない。報復でなく協同を」——被爆者の証言活動

小林 被爆者のみなさんの証言活動は、どんな様子でしたか？

金井 私が所属したグループは、コロンビア大学で、教

金井 渡米する前に各行政区をまわったときに、みなさんのメッセージを衣装に寄せ書きしてもらったのですが、いまふりかえると、そうやって書いてもらうプロセスがとても大事だったような気がします。

つまり、書き込んでもら

たびに、みんなの気持ちが私に移ってきたというか、私の気持ちがあんまり熱くなっていったというか、そんな気がするんです。

たりに、見知らぬ人といっしょに写真を撮ったりして、パレードがはじまる前から気持ちが高まっていききました。「みんな、私と同じような気持ちで集まっているんや！」と思うと、私じしんのエネルギーが100倍にもなったような気がしましたね(笑)。

金井 「原爆がこんなにひどい被害をもたらすものとは、まったく知らなかった。

これは私たちには平和のために何をすればいいのですか？」とか、「アメリカ人をうらんでいませんか？」など、純粹さの感じられる質問が出されました。

被爆者の方がたは異口同音に、「私たちはアメリカの市民をうらんではいない。平和のためには、報復ではなく、核兵器の恐ろしさを子どもた

ちに教え、みんなが核兵器廃絶にむけて歩きだせるようにしてほしい。きょう自分が聴いたことを誰かに話してください」と訴えられて、学生たちも「それなら自分たちもできる」と感じていたようです。

劉 私が参加した証言活動グループでは、被爆体験を聴いたあとの質疑応答で、「原爆よりテロのほうが怖い」と話す学生が多くて、びっくりしました。とくにニューヨークにくらす学生たちにとって、9・11テロの衝撃が大きかったようです。「テロリストに核兵器を渡すぐらいな

ら、いつそ核兵器は廃棄したほうがいい」というロジック(論理)による考え方もあるのかなと思いました。

私は、「何のために核兵器をなくすのか」という目的はちがっても、「核兵器廃絶」という結果を共有できるなら、彼らといっしょにがんばれると思いました。人によって意識のちがいはありますが、どんなに認識がちがっても、真実はひとつしかありません。その真実をちゃんと伝えていけたら、お互いの認識も少しずつ近づいていくのではないかと思います。



小林 アメリカの人たちは、かつての劉さんと同じように、「原爆投下は戦争終結のために必要な作戦だった」と教えられているでしょうから、被爆の実相を直接、聴いて、知ってもらうことはとても大事ですね。学生たちからは、どんな質問が出ましたか？

「アメリカ政府の代わりに、ぼくが謝ります」

——国連原爆展2010

小林 国連本部ロビーで開かれた原爆展(※1)はどう

でしたか？
湯浅 展示ブースの一角で

は証言活動もおこなわれていました。そこで被爆者の土屋



さんが淡々と証言されたのですが、話が終わると、金髪の青年がつかつかと歩いてきて、通訳を介して「あなたの話を聴いて、核兵器はけっして使ってはいけないということがよくわかった。アメリカ政府は日本にちゃんと謝っていないから、ぼくが代わりに謝ります」といったんです。土屋さんは「こんな若者がいるから、うれしくなるんだ」とおっしゃっていました。

5年前のこの会議に代表派遣され、その後、被爆者として活動を続けておられる花垣ルミさんも、「私は、過去のことでではなく、これからのことをいっしょに考えませんか、というメッセージを伝えています。そうすると、アメリカ人も中国人もみんなわかってくれて、最後には握手をして、抱き合えるんです」とおっしゃっていました。私たちは、花垣さんや土屋さんのあとの世代の人間として、そういう気持ちを伝えていきたいと思えます。

金井 コロンビア大学の学生たちも、帰りがけには被爆者の方がたのところへ寄ってきて、握手をもとめたり、

「がんばってくださいね」と話しかけたりしていました。彼らなりに感動し、「自分たちも何かしなければ」と感じたんだと思います。被爆者の方がたも「学生たちの手のぬくもりのなかに『これから自分も核兵器廃絶のためにがんばろう』という気持ちを感じた」とおっしゃっていました。

市民と非同盟諸国の協同の力が世界を変える！

小林 ニューヨークでの一連の行動でもっとも感動したこと、心に残ったことは？

劉 ある女子高校での証言活動で、女性の被爆者の方が、「当時は、結婚してはいけない、子どもも産むなどいわれていた。プロポーズされて、はじめて相手に被爆者であることを打ち明けた。いまは孫もいるけれど、孫や子どもたちが病気になるたびに自分のせいではないかと思う」と話すと、女子高生たちは泣きながら、「いつか私たちも母親になる。自分の子どもは絶対にそんな目にあわせたくない」と、自分の身にひきよせて考えていました。

まさに証言活動の重要性を感じた一瞬でした。

小林 私も何度か被爆者の方がたのお話をうかがっていました。

そのたびに「いま伝えなければ、もう時間がない。自分の生きているあいだに、核兵器のない世界にしたい」という切実な思いが伝わってきました。

した。

劉 ほんとうに、もう時間がありません。

私は証言活動をされた被爆者のおひとりから「あなた方は、ニューヨークで被爆者の話を直接聴ける最後の大学生かもしれない」といわれました。しっかりと語り継がねばと思います。

帰る直前、ひとりの女の子が「きょうの授業は一生忘れません」といつてくれました。とつさのことで「ありがとう」としかいえませんでした。ほんとうは「私です」といつてあげたかったです。被爆者の方の思いがアメリカの女子高生の心に届いたんだと思いました。

金井 私が印象的だったのは、通訳として協力して下さった約80人の在米日本人のボランティアの方がたの姿ですね。

夫の転勤でアメリカに住んでいる方や看護師さんなど、立場はいろいろでしたが、どの方も「被爆者のみなさんの

バクトウランさんで、最終文書の採択にあたって、核保有国から核兵器廃絶にむけた明確な誓約を引き出したのは、

※1 国連原爆展2010

写真パネルは全部で50枚。ビキニ環礁での水爆実験で被爆した第五福竜丸やマーシャル諸島、核実験による被害を受けたアメリカ・ネバダ州やカザフスタン、チェルノブイリ原発事故での被害など、世界中の核の被害を訴える展示内容になりました。



非核保有国や非同盟諸国のねばりづよい交渉があったからだと指摘されています。

国連事務総長の潘基文(パンギムン)さんが核兵器禁止条約の交渉の検討をよびかけたこともたいへん注目されました。

金井 ほんとうにこれからは大国だけでなく小さな国ぐにの人たちと力を合わせて世界を変えていく時代だと思

ますね。

湯浅 最終文書に「核兵器なき世界の達成にむけた諸政府や市民社会からの新しい提案およびイニシアチブに注目する」という言葉が入ったと聞き、私は「よかった」と思いました。

これは一人ひとりの署名が有効に働いた結果だと確信しています。今回のNPT再検

討会議では被爆者のみなさんが国際的な議論の場でもほんとうに大きな力を発揮されたと思います。

私にとっては、去年までNPT再検討会議についても知らないことばかりでしたが、学んでいくなかで、とくにCANNT署名(※2)や新国際署名(※3)の取り組みのなかで、広島市長の秋葉忠利さ

んの「歴史はくりかえす。だから学ぶことが大切なのだ」という言葉や、広島平和文化センターのステイブン・リパー理事長の「真剣に考え、行動し、たたかわないと、核兵器廃絶にたどり着くことはできない」というメッセージは、とても心に残っています。生協の平和活動にも通じるのではないかと思います。

※2

CANNT署名
都市を攻撃目標にするな
(Cities Are Not Targets)ブ
ロジェクト「核兵器の攻
撃目標の解除と核兵器の
廃絶を求める要請書」署
名の略称

※3

新国際署名
2008年8月、原水爆
禁止世界大会(開催地・
ヒロシマ)で呼びかけら
れた新国際署名「核兵器
のない世界を―2010
年NPT(核不拡散条約)
再検討会議にむけて」の
略称

未来の世代のために、語り継ぐこと、行動すること

小林 これから取り組みたいことは？

劉 日本人の学生にも留学生の仲間にも、ヒロシマ・ナガサキで起こったこと、私がニューヨークで見たこと感じたことを伝えていきたいです。若者たちに伝えることによつて、これからの社会が大

きく変わらうと思うので、ぜひこれからも伝えつづけていきたいと思ひます。

金井 私も同感です。平和のために何をすべきか、それをまわりの人に考えてもらうには、まず自分が発信することが大切だと思つて、帰国後、いろいろな集まりで報告してきました。報告を聴いてくれた人は、たいてい、「ほんまや！私の子どもや孫にも話したい」といつてくれます。

私はNPT再検討会議への要請の取り組みを通じて、学ぶこと、伝えることの大切さを知つたので、そのことを忘れないで、今後も核兵器廃絶の

運動をできるかぎり広げていきたいと思ひます。

湯浅 ある被爆者の「65年前の原爆はまだ終わつていない」という言葉を聴いたとき、私はとても強い印象をうけました。こんなに多くの命を奪い、長く苦しめる核兵器は、ほんとうになくさなければいけないし、地球規模の環境問題などと同様に大きな課題です。

もし若者たちが平和の問題に無関心だとすれば、それはたんに「知らない」からで、私たちが彼らに伝えることができれば、かならず関心をもつてくれるはずです。私も、

少し前までは知らなかったけれど、今回のNPT再検討会議への要請行動を通じて、いろいろと学ぶ機会をえまして、被爆者の方がたや反核平和運動に取り組んでいる多くの人びとから、「核兵器は一人ひとりの力で、かならずなくすことができる」という希望をあたえていただきました。ですから、今度はそれを伝える立場でがんばっていきたいと思つています。

小林 昨年11月に京都市内で開催された講演会で広島市長の秋葉忠利さんが、「各市長に平和市長会議への参加を要請しよう」という提案をされました。それをうけて、福知山行政区委員のみなさんが市に要請に行き、その後、松

山正治市長から「平和市長会議に加盟の手続きをおこないました」というご返事をいただきましたとうかがいました。まさに今回の会議にむけて大きな一歩がふみだされてきており、ほんとうにすばらしい行動だと思ひます。

みなさんのお話を聴いていて、核兵器廃絶にむけたロードマップ(作業行程)の作成を具体的なものにするうえで、大きな力を発揮するのは市民と非同盟諸国なのだと思ひます。私自身も市民のひとりとして、また孫をもつ身として、しっかりと未来の世代に伝えるために行動しなければと思ひます。きょうはありがとうございました。

(写真撮影・有田知行)



適格消費者団体・特定非営利活動法人

「消費者支援機構関西(KC.S)」通常総会

「記念シンポジウム」差止請求と検討グループ活動の成果と課題

6月26日(土)、大阪科学技術センターで開催され、全議案を可決しました。

記念シンポジウムでは、「差止請求と検討グループ活動の成果と課題」をテーマに、英会話学校の不当勧誘などの差止請求訴訟を通じた成果と課題についての報告・活動紹介がおこなわれました。



劇団「そとばこまち」が熟演

劇団「そとばこまち」が消費者被害事例について熟演したほか、住田浩史弁護士からの報告、各検討グループの活動報告がありました。

会場からは、「消費者ネットしが」の結成、京都府における行政と専門家・消費者団体が連携して悪質な事業者の排除をすすめる取り組みなどについて、発言がありました。こんごの課題のひとつです。



全議案を可決

「消費者市民社会」の実現へむけて、あらたな消費者行政がスタート

2009年は消費者庁・消費者委員会が発足し、あらたな消費者行政スタートの年となりました。

景品表示法・特定商取引法が消費者団体訴訟制度の対象となるなかで、適格消費者団体の活動の幅が大きく広がっています。

消費者支援機構関西(KC.S)では、表示チェック活動などの取り組みも開始。早期完済違約金についての差止訴訟では高裁初の差止判決が出されるなど、大きな成果を生み出しています。

京都消費者契約ネットワーク総会、講演会

5月25日(火)、京都弁護士会館で、適格消費者団体・特定非営利活動法人・京都消費者契約ネットワークの総会が開催され、全議案を可決しました。

総会後、「国民生活センター」の役割とこれからの消費者行政」と題して、国民生活センター・野々山宏理事長(前京都消費者契約ネットワーク理事長)の講演会が開催されました。野々山理事長は、「消費者被害が多発しているなか、効率化をはかりながらも国民生活センターの機能を拡充・強化していく」と決意をのべました。

京都府消費生活安全センターと消費者団体との意見交換会

7月26日(月)、京都テルサで、京都府消費生活安全センターと消費者団体(京都消費者契約ネットワーク・コンシューマーズ京都・京都府生協連)との意見交換会を開催しました。

以下の事項について意見交換しました。①京都府、各消費者団体の取り組み、②相談員養成講座、悪質商法対策、適格消費者団体の差止請求との連携、③国の施策、地方行政施策の充実について。

京都府消費生活安全センターからは、足立敏センター長、北村有希子副課長、高野則雄副課長、藤江拓司主査、橋角尚憲担当が出席しました。



国民生活センター・野々山宏理事長

京都消費者契約ネットワークから高嶋英弘理事長、長野浩三理事・事務局長、コンシューマーズ京都から原強理事長、高田艶子副理事長、京都府生協連から小峰耕二専務理事、坂本茂事務局長が出席しました。

京都府生協連 第57回通常総会開催

全議案を可決、役員18人を選任、総会アピールを採択

6月29日(火)、池坊学園洗心館で、京都府生活協同組合連合会第57回通常総会を開催しました。

総会の代議員数は42人で、当日の出席は本人出席35人、書面出席6人でした。ご来賓をはじめ、90人の参加となりました。



梶川憲・京都労働者福祉協議会副会長



岩永美好・京都府府民生活部副部長
(山田啓二・京都府知事代理)



開会のあいさつをする
小林智子会長理事

小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓の岩永美好・京都府府民生活部副部長(山田啓二・京都府知事代理)、梶川憲・京都労働者福祉協議会副会長から、ご祝辞をいただきました。

坂本茂事務局長が京都府議会議長、京都市長、国会議員、各関係団体、各生協からいただいた77通の祝電・メッセージをご紹介します。

提案されたすべての議案が可決されました。員外理事をふくむ16人の理事と2人の監事が選任されました。2010年度の役員体制は左ページのとおりです。

さいごに廣瀬佳代常任理事が総会アピールの採択について提案し、拍手で確認しました。



今回退任された役員のみなさん (敬称略)

- 理事 羽賀 省二 (京都教育大生協専務理事)
- 理事 村田二三男 (京都生協常務理事)
- 理事 毛利 雅彦 (同志社生協専務理事)
- 監事 笠谷 敏子 (京都生協理事)
- 監事 酒井 克彦 (立命館生協専務理事/池坊学園生協専務理事)

祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた (敬称略・順不同)

- | | | |
|------------------------|---------------------------|------------------|
| 民主党衆議院議員 泉 ケンタ | 民主党衆議院議員 北神けいろ | 民主党衆議院議員 豊田潤多郎 |
| 民主党衆議院議員 前原 誠司 | 民主党衆議院議員 山井 和則 | 民主党参議院議員 福山 哲郎 |
| 民主党参議院議員 松井 孝治 | 公明党衆議院議員 池坊 保子 | 日本共産党衆議院議員 こくた恵二 |
| 日本共産党参議院議員 井上さとし | 京都市長 門川 大作 | 京都府議会議長 林田 洋 |
| 京都府社会福祉協議会会長 立石 義雄 | 京都市社会福祉協議会会長 村井 信夫 | 京都商工会議所会頭 立石 義雄 |
| J A京都中央会会長 中川 泰宏 | 京都府漁業協同組合連合会代表理事会長 佐々木新一郎 | |
| 京都府森林組合連合会代表理事会長 梅原 久弘 | | |

総会アピール

地域・大学・職域・医療・共済などの分野の蓄積を生かして、「くらしの問題の解決」のために、生協の「総合力」を発揮していきましょう!

アメリカ発の金融危機を契機とした世界的な不況をうけて、企業間競争がいっそう激しいものになっています。労働者賃金の引き下げ・雇用の抑制・非正規労働の拡大などがすすめられるなかで、大企業が収益を回復しつつある半面、消費生活においては家計支出の切り詰めをよぎなくされています。貧困と格差が広がり、医療・年金・福祉の全面にわたる制度改革がすすめられてきているもつで、消費税率の大幅引き上げの方向が打ち出されたことは、国民のくらしの不安をさらに大きなものにさせています。

組合員一人ひとりが抱える「くらしの問題の解決」のために、地域・大学・職域・医療・共済などの分野の蓄積を生かして、生協がその「総合力」を発揮することがつよく期待されています。

いま、世界の国くにをめぐる関係性はより緊密なものになり、経済のグローバル化のもとで食料品・日用雑貨をはじめとする生活必需品・サービスの品質・価格などに大きな変化が生じています。しかし、こうした商品生産・流通のありようは一方で「合理性」をもちつつも、つねに「不安定性」をともなっています。国境をはる

2010年度体制

6月29日現在 (敬称略)

*印は新任

会長理事	小林 智子 (員外)
副会長理事	中森 一朗 (京大生活協同組合専務理事)
専務理事	小峰 耕二 (員外)
常任理事	今西 静生 (京府庁生活協同組合専務理事)
常任理事	北村 英和* (京大生活協同組合常務理事)
常任理事	沼澤 明夫 (大学生生活協同組合京都事業連合専務理事)
常任理事	廣瀬 佳代 (員外)
理事	大川 肇* (全京都勤労者共済生活協同組合専務理事)
理事	小野 留美子 (乙訓医療生活協同組合専務理事)
理事	児玉 恵美* (京大工芸繊維大学生生活協同組合専務理事)
理事	佐々木 郁子 (生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ理事長)
理事	末廣 恭雄* (京府立医科大学・府立大学生生活協同組合専務理事)
理事	田中 弘 (京大医療生活協同組合専務理事)
理事	行松 龍美 (やましる健康医療生活協同組合専務理事)
理事	右近 裕子 (員外)
理事	高田 艶子 (員外)
監事	栗飯原 利弘* (龍谷大学生生活協同組合専務理事)
監事	斎藤 紀子* (京大生活協同組合常任理事)
(事務局)	
事務局長	坂本 茂
事務局次長	高橋 薫
事務局担当	川端 浩子
渉外・教育担当	原 強



「まとめ」の報告をする
小峰耕二専務理事

当日は13人の代議員およびオプザーバーなどから、地域生協・大学生協・医療生協・職域生協の活動、平和や災害の取り組みについて活発な発言がありました。

これらの発言をふまえ、小峰耕二専務理事は「この1年の多様な活動について報告をいただいた。これらをしっかりと受けとめ、みなさんがたといっしょに連合会の活動をすすめてまいりたい」とのまとめをおこないました。

13人が活発に発言

発言者とテーマ



京大生活協同組合
山根芳子 代議員

「さくらこめたまごと高齢者の利用サポートの取り組み」



生活協同組合
生活クラブ京都
エル・コープ
細谷みつ子 代議員

「2009年度活動報告」



生活協同組合
コープ自然派京都
坂本真有美 代議員

「商品の背景にある物語に目を向ける」



立命館生活協同組合
魚重諒介 代議員

「生協学生委員会の取り組み(新入生歓迎の取り組み)総代会にむけた取り組み」



京都府立医科大学・
府立大学生生活協同組合
千種浩香 代議員

「丹後半島・京丹後市 農業・収穫体験・生産者・酪農家と交流環境学習ツアー報告」



京都医療生活協同組合
あざみ祥子 代議員

「組合員増やしと医療における組合員活動の模索」



乙訓医療生活協同組合
井月喜八郎 代議員

「くらしの安心・まちづくり」



やましる健康医療
生活協同組合
福田 崇 代議員

「口から見える格差と貧困(全日本医師連合歯科酷書)より」



京大大学生生活協同組合
藤本成彬 代議員

「COP15に参加して」



京都生活協同組合
湯浅美恵子
オプザーバー

「NPT(核不拡散条約)再検討会議への要請行動に参加して」



京都府生活協同組合
連合会
災害対策委員会
今西静生 委員長

「災害対策の整備をすすめて」



同志社生活協同組合
五藤 実 代議員

「同志社生協の経営再建計画2010-2012について」



京府庁生活協同組合
宮村匡彦 代議員

「府庁生協の現状と課題」

かにかえられたかたちでの移り変わりが急速にすすむ時代であるからこそ、私たちは生協がはたしてきた役割についての学習をつよめ、生協の理念・協同組合の定義・価値・原則を大切にしていく必要があります。

生協の発展と消費者運動・世論の高まりのもとに、2003年に食品安全基本法が、2004年に消費者基本法が制定され、昨年には消費者庁・消費者委員会が設立されました。消費者権利が十分に尊重される「消費者市民社会」の実現にむかって、社会は確実な前進をとけています。平和課題においても、核兵器廃絶にむけた運動が歴史的なうねりをみせています。京都府内においては生協への加入組合員数が67万人をこえ、本総会では京都府生活協同組合連合会を構成する19組合員が経営環境のきびしさを受けとめながらも旺盛な事業と活動を展開していることを確認しあいました。

生協が地域に大きな影響力をもつ組織として成長していること、自覚と責任の上で立つて、さまざまな協同組合・事業者組織・消費者団体などとの連帯・提携をすすめる、環境と社会の「豊かな循環」をつくりあげる取り組みをつよめていきたいと思います。「運営改革・事業刷新」にスピードを上げて取り組み、「総合的な対応力」を強化して、組合員のくらしの願いにこたえていきたいと思います。

2010年6月29日

京都府生活協同組合連合会

「農商工連携が生み出す地域の元気」をテーマに開催



7月14日(水)、キャンパスプラザ京都を会場に「2010年国際協同組合デー第21回京都集会」が開催され、JA、JF、森連、生協から160人が参加しました。

国際協同組合デーは、毎年7月第1土曜日を、全世界の協同組合員が心をひとつにして、協同組合運動の発展を祝い、平和とよりよい生活を築くために、運動の前進を誓い合う日として、1922年に制定されたもの。

京都では毎年、京都府協同組合連絡協議会(構成/JA京都中央会・京都府漁業協同組合連合会・京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合連合会)が主催して、記念の集会企画を実施しており、これまで21回目をむかえます。今回は「農商工連携が生み出す地域の元気」をテーマに、農商工連携の取り組みと、それぞれの協同組合から活動報告がおこなわれました。



JA京都中央会・中川泰宏会長からの開会あいさつを代読する牧克昌常務

第21回京都集会は京都府森林組合連合会・総務部松田純一課長の司会で開会。

J A京都中央会・牧克昌常務より、中川泰宏会長からの開会あいさつが代読されました。

まず、農業ビジネスセンター京都・小倉訓事務局長から「いま、なぜ農商工連携なのか」について、提起された背景と意義、推進体制などの説明がありました。

つづいて、農商工連携の事例として、京丹波町鎌谷中もえぎグループ企業組合の細井百合子さん、京都・京北つけもの工房「いぶり」の一瀬裕子さんより、報告がありました。

参加者からは「熱意が感じられる取り組みで、今後に期待します」「元気いっぱい女性のパワー。応援したい」「地域の特色を生かした製品ができたことを喜ばしく思う」などの感想がありました。

各協同組合からは「協同組合の若き担い手が語る」と題した活動報告がありました。「若い担い手の奮闘は心づよい」「前向きにがんばっておられる姿に勇気をもらいました」などの感想がよせられました。

最後に、京都府漁業協同組合連合会・佐々木新一郎代表理事会長から閉会のごあいさつがありました。



閉会のあいさつをする京都府漁業協同組合連合会・佐々木新一郎代表理事会長

京都府における農商工連携の取り組み

いまなぜ農商工連携なのか

農業ビジネスセンター 京都

小倉 訓 事務局長

農商工連携とは、農林漁業者と商工業者がかかえる、さまざまな課題を、通常の商取引の関係をこえて連携・協力することによって、新商品・新サービスの創造・開発をし、売り上げや利益の増加をめざそうとする取り組みのことです。

京都府内ではこうした取り組みにたいして助成金を交付し、あらたな京都ブランドの創造や地域経済の活性化を図ろうとする「きょうと農商工連携応援ファンド支援事業」があります。

こんご、いろいろな形態の連携体ができることを期待します。



女性のチカラで地場産品を全国市場へ

鎌谷もえぎグループ企業組合

細井百合子 代表理事

「地元のブランド素材を使って、ふるさとのぬくもりの感じられる商品づくりをした」との思いから、おかきづくり、お菓子づくりをはじめました。通信販売仲介会社と提携することによって、全国の百貨店、生協などで商品を利用していただき、販路がひろがっています。

「京風ぎんつば草納言」をはじめ、送りだした商品はさまざまな賞を受賞しました。身近にある地元の特産素材を使い、商品を開発しています。これからも、夢を大きくもち、仕事を楽しみ、おもしろく、イキイキくらししていきたいと思っています。



地域の野菜を「京北杉」でいぶつた、「いぶり干し」商品づくり

京都・京北つけもの工房「いぶり」

一瀬裕子 代表

京北で「生産している野菜のなかで規格外のものを使って、商品づくりができないか」という農業者の思いと、「すべて地元の材料で、あらたな観光土産物を製造できないか」という商工業者の思いが、特産品開発に結び付きました。

京北杉のチップのみを使い、大根をいぶした「いぶり干し」は他にはない特色をもった漬物だと思います。地域の93%が森林ですが、木材価格の下落、需要の減少で林業は低迷しています。しかし、美しい京北の資源・自然を守っていくことでの評価が大切にされなければならぬと思っています。



協同組合の若き担い手が語る

JA・JF・森林組合・生協より活動報告がされました。

「僕は五代目
父とのつながり。
人とのつながり。」

JA京都のくに青壮年部
綾部支部

西山 和人さん



「資源と環境に優しい
底曳網漁業をめざして」

京都府漁業協同組合連合会
指導課 課長代理

濱中 貴志さん



「京都市森林組合に
就職して」

京都市森林組合 業務課
山下 絵里子さん



「さくらこめたまご」の
取り組みについて」

京都生活協同組合
産直・地産地消推進担当
福永 晋介さん



ピースアクション京都2010

6月21日(月)、京都府連のよびかけで
生協組合員200人がピースパレードに参加



京都生協・二場邦彦理事長、京都医療生協・田中弘専務理事、京都府生協連・小林智子会長理事が先頭をきって行進



大学生協のみなさんが、虹の旗をもって……

6月21日(月)、「2010年度ピースパレード京都」が取り組まれました。京都府生協連が府内の生協によびかけたもので、京都生協・大学生協・医療生協・府庁生協などのほか、鳥取県生協などの参加もあり、組合員・役員200人が「核兵器のない平和な世界を」と訴えました。パレードの出発にあたって開かれた集会では、京都生協・楠橋郁子さんが司会を担当、栗林民恵ピースパレード実行委員長があいさつをおこないました。各参加団体代表からのひとことピースアピールがあり、原水爆禁止国民平

和大行進からのメッセージが紹介されました。思い思いのコスチュームで扮装したり、リボンをふりながら、祇園石段下から四条通り、河原町通りをとおり、京都府役所まで、行進しました。近鉄大久保ブルースバンドの演奏もあり、にぎやかで歌いっぱいのパレードとなりました。ゴールとなった市役所前でまとめ集会がおこなわれ、小林智子会長理事があいさつをのべました。



京都生協・渡辺明子副理事長、斎藤紀子常任理事ほかのみなさんも楽しくアピール

“平和をつくろう！子どもの未来のために”～リボンでつなぐピースメッセージ～
知恩院山門に「PEACE」の人文字



NPT再検討会議の報告をする
 京都生協・湯浅美恵子理事と金井和枝さん

つづいて円山公園では、5月にニューヨークで開催されたNPT（核不拡散条約）再検討会議に代表派遣された組合員の報告会がおこなわれました。

出発集会に先立ち、知恩院でペーパーフラワーとりぼんをつなげて「PEACE」の人文字がつけられました。いあわせた外国からの観光客がさかんにシャッターを切る姿が見うけられました。



出発式であいさつする
 粟林民恵実行委員長



鳥取の生協のみなさんが、日本海コースの横断幕をもって行進しました

ピースアピール

- ①世界中に平和の風を吹かせましょう！
- ②子どもたちの笑顔を守りましょう！
- ③みんなで平和を守りましょう！
- ④核兵器はいりません！
- ⑤地球はひとつ、みんな仲良く平和な未来を！
- ⑥ハッピー ハッピー ラブ&ピース



NPT再検討会議の報告をする劉琬月さん

当日は、NPT再検討会議の成果・課題についての学習とともに、イスラム法のもとでも食えることができるハラールフードを食べながらの交流もおこなわれました。

ニューヨークへ代表派遣された京都大学生協留学生委員会・劉琬月さんが、現地での要請行動や米国学生たちとの対話などを報告、「大人になる大学生の私たちは、平和への想いをより多くの人に伝えていかなければならない」とのべました。

6月19日（土）、京都大学吉田食堂で開催され、37人が参加しました。

大学生協・NPT再検討会議参加報告会

農林漁業と食の府民講座

4月24日(土)、京都J A会館で、京都府農林水産技術センターの主催による「第1回 農林漁業と食の府民講座『健康と環境を守る京都府の農林水産物』」が開催されました。京都府農業協同組合連合会・京都府立大学・京都府生協連が後援しました。



京都府農林水産技術センター・甲谷潤センター長

甲谷潤センター長が開会あいさつされたのち、同センター企画室・矢野穰二主任研究員が農林水産技術センターの研究紹介をおこないました。

つづいて農林センター園芸部・中村考志研究調整役による「からだにいい京野菜とそれを活かした食べ方」、海洋センター海洋生物部・西垣友和主任による「海の森って何?—その役割と造成—」をテーマに講演がありました。



宮津産アカモクを使った吸物と炊込みごはん

宮津市養老地区の女性グループ「ぼっわっ」の調理による宮津産アカモクを使った料理の試食もおこなわれました。

京都府連からは、小林会長理事、廣瀬佳代常任理事、高田艶子理事、笠谷敏子監事、坂本茂事務局長、高橋薫事務局次長、川端浩子事務局担当が参加しました。

災害ボランティア活動基礎講座

5月23日(日)、ビルホーコー自愛の間で、開催されました。京都府災害ボランティアセンター加入団体や市町村および社会福祉協議会の役員など、災害ボランティアに関心のある府民などを対象に開かれたもの。京都府災害ボランティアセンターが主催しました。

特定非営利活動法人・災害ボランティアネットワーク鈴鹿・南部



災害ボランティアネットワーク鈴鹿・南部美智代理事長

美智代理事長による講演をうけて、同理事長と京都府災害ボランティアセンター・吉村雄之祐副代表が対談しました。

南部理事長は、「広域避難場所の看板のシンボルマークが書けますか?」と、参加者に問いかけ、「修学旅行者をはじめ観光客などにも、わかりやすい案内ができるように」と強調しました。

京都生協福祉事業・ネットワーク推進部・門脇勇夫担当と、京都府生協連・高橋薫事務局次長が参加しました。



京都府災害ボランティアセンター・吉村雄之祐副代表と対談

福留志なさんを偲ぶ会

6月6日(日)、綾部市・京都府中丹文化会館で、「ふりそでの少女・福留美奈子ちゃん」のお母さん



「ふりそでの少女・福留美奈子ちゃん」のお母さん・志なさんを偲んで……

ん・志なさんを偲ぶ会が開かれ、400人が出席しました。

志なさんは、2009年11月29日、107歳の天寿をまっとうされました。10歳のときに長崎で被災した美奈子ちゃんの分をあわせて、文字どおり二人分の人生を歩まれました。

当日は、松添博さん、藤田晴子さんはじめ、ゆかりの深い方がたが追悼メッセージをのべられ、平

和への願いをあらたにしました。

偲ぶ会につづいて、梅原司平さんによるコンサートが開かれ、「折り鶴」「ふりそでの少女」などを参加者とともに合唱しました。

京都グリーン購入ネットワーク総会、セミナー



京都大学・植田和弘教授があいさつ

6月3日(木)、コープイン京都で、開催されました。京都府生協連・右近裕子理事が広報コミュニケーションセッションの活動報告をおこないました。右近裕子理事は、今総会で京都グリーン購入ネットワークの幹事に選出されました。

つづいて開催されたセミナーでは、「本業に、環境に、CSRに、役立つグリーン購入」をテーマに、(株)堀場製作所、(株)ウエダ本社、ホンダカーズ京都から報告がありました。

きょうと食育ネットワーク
通常総会

7月11日(日)、京都府庁旧本館で「きょうと食育ネットワーク通常総会」が開催され、平成22年度事業計画をはじめ全議案を承認しました。

同ネットワーク代表の同志社大学・今滋教授が開会あいさつ。京都府食の安心・安全推進課・片岡光信課長が議案報告をおこないました。

同ネットワークは食育にかんする普及・啓発、情報の収集・提供、食育支援活動の登録・提供などの取り組みをおこなっており、保健衛生、農水産、教育・大学、商工、消費者団体、報道関係など幅広い分野から86団体が会員登録しています。

京都府生協連からは高橋薫事務局長が幹事に選出されています。



北海道大学・西村孝司教授



藤女子大学・三田村理恵子准教授

総会終了後、「食育を高める免疫力」をテーマに「きょうと食育講演会」が開催されました。

北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫制御分野・西村孝司教授が「免疫バランス改善を目指した食育が切り拓く『子どもの未来』と『地域の力』」子どもたちをアレルギーや新型インフルエンザから守る社会づくり」と題して講演。

西村教授は「免疫バランスの乱れが子どもたちのアレルギーや病気に大きくかわっている。子どもたちのとる食事により、大きく改善が期待できる」ことを詳しく話されました。

つづいて、藤女子大学人間生活学部食物栄養学科・三田村理恵子准教授が「子どもの健康とヘルシーツーリズム推進を目指した食育活動」北海道における活動事例紹介」をテーマに講演されました。

三田村准教授からは「子どもと保護者を対象にした食育活動」や

「ヘルシーメニューの開発」などの事例紹介がありました。



きょうと食育ネットワーク総会とあわせて、同日、京都府庁旧本館・前庭・中庭で、昨年度にひきつづき、京都府内で栽培・生産された農産物や食品を販売する「京都こだわりマルシェ4」が開催されました。

マルシェとはフランス語で「市」の意味で、商品の売り買いだけでなく、生産者・消費者・研究者・ご近所の方がたが楽しみながら、食について互いに知り、学び、考える機会にしたいとの思いから、この名がつけました。

次回の開催は9月26日(日)が予定されています。

総会
京の農産物あんしんネットワーク

6月18日(金)、京都J A会館で、特定非営利活動法人「京の農産物あんしんネットワーク」の総会が開催され、大村律子理事長が開会あいさつをのべました。全議案が賛成多数で承認されました。

同ネットワークには、京都府生協連・坂本茂事務局長、コンシューマーズ京都・末永敬子氏らがひきつづき理事として選出されています。

総会の中の、茶話会が開催され、



京料理萬重三代目若主人・田村圭吾氏

京のふるさと産品価格流通安定協会・佐藤隆司課長が「京のブランド認証システム・ブランド京野菜について」をテーマに話されました。

つづいて、京料理萬重三代目若主人・田村圭吾氏が「京料理の伝統と味」をテーマに講演されました。海外との食文化の違いなどを、実体験をまじえてわかりやすく話されました。

京都府生協連からは、小林智子会長理事、坂本茂事務局長、川端浩子事務局担当が出席しました。

役員研修会を開催

7月28日(水)、コブイン京都で、日本生活協同組合連合会・芳賀唯史専務理事を講師に招き、「転換期の協同組合の役割、事業

統合・連帯」生協の2020年ビジョン・20の論点」をテーマに役員研修会を開催しました。

経済・社会の大きな転換期にあつて、生協のあり方・ありたい姿をどう構想し、どう接近していくのか、日本生協連は「長期ビジョン」づくりに取り組んでおり、作業状況について報告されました。

芳賀唯史専務理事は、「ICA声明」における協同組合の「定義・価値・原則」が策定されるまでの経過や、今日におけるイギリス・イタリアなどの生協の姿を紹介しながら、日本の生協が直面している課題、背景についてふれられました。

生協のめざすべき方向を考え、生協にもとめられる社会的役割や事業統合・連帯のあり方などについて、学ぶ機会になりました。

開会にあたって、京都府消費生活安全センター・足立敏センター長からあいさつをいただきました。



日本生活協同組合連合会・芳賀唯史専務理事

おもな行事のお知らせ

2010年度京都府総合防災訓練
 日時：9月4日(土) 午前
 会場：宇治市(山城総合運動公園)
 体育館前スペース等
 ※京都府生協連はJAGグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

京都府協同組合

「第10回職員体験・交流学校」

主催：京都府協同組合連絡協議会
 (JA・JF・森連・生協連)
 日時：9月9日(木) 12:00
 10日(金) 13:00(予定)

会場：京都市右京区(コーパリティ)

京都市南区(京都生協南部物流センター)
 内容：生協の無店舗事業について学ぶ。商品の製造から集品、配達という流れを体験。

第41回京都消費者大会

主催：コンシューマーズ京都
 日時：9月18日(土)
 13:30~16:00

会場：ハートピア京都(京都市中京区)

竹屋町通烏丸東入)
 テーマ：「私が主役、あなたも主役」
 拓く・ひろがる 日本の新しい消費者市民社会

京都環境フェスティバル2010

主催：京都府・京と地球の共生府民会議ほか
 日時：12月11日(土)~12日(日)
 会場：京都府総合見本市会館(パルスプラザ)



大江山 日本の鬼の交流博物館

鬼伝説の総本山 大江山の南麓
 鬼とは何者なのか——を探る

探訪

日本の鬼の交流博物館は、1993年に開館。古くから大江山に伝わる「酒吞童子伝説」を地域の文化財としてとらえ、「鬼文化全般」の資料を展示し、地域や個人を結ぶ交流の拠点となっています。

鬼とは何者？

「祀られる鬼」「鬼と仏」「神楽の鬼」「暮らしの中の鬼」「追われる鬼」「民族芸能の鬼」「大江山の鬼」など、鬼面と写真で鬼をジャンル別に展示。鬼とは何かを、多面的にさぐることができます。世界の鬼面には、万国共通の「魔なるものの畏れ」があらわれていることもわかります。

3つの鬼退治伝説

大江山には、「陸耳御笠(くがみみのみかさ・土蜘蛛)が日子坐王(ひこいませすのきみ・崇神天皇の弟)に退治された話(古事記、丹後風土記残缺)」、「麻呂子親王が、三上ヶ嶽(大江山の古名)で英胡・軽足・土熊などを討った話」、「酒吞童子の話」が伝わります。塩見行雄館長は、「しかし、鬼はけっして悪い

ことをしたから、懲らしめられたというわけではありません」と話しています。



塩見行雄館長

鬼瓦の移り変わり

魔除けにも使われてきた鬼瓦を、複製品・実物をとりまぜて年代順に展示することで、鬼にたいする思いの変化もわかります。前庭には、「日本一の大鬼瓦(高さ5m、重さ10t・日本鬼師の会のみなさんの合作)」が展示されています。

鬼の交流ホール

特別展・会議・音楽会の開催などに利用され、現代の鬼を描く方がたの絵が壁面に展示されています。鬼に関する書籍・資料・写真が多数収蔵され、希望者は閲覧できます。

【利用案内】 開館時間：午前9時～午後5時(入館は、4時30分まで)
 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)
 年末年始 12月28日～1月4日
 入館料：一般310円、高校生210円、小・中学生150円(団体割引あり)
 ただし、特別展の入館料および交流ホール使用料は別途。

【問合せ先】 〒620-0321 京都府福知山市大江町仏性寺909 電話/FAX 0773-56-1996

【交通】 北近畿タンゴ鉄道 大江駅下車(車で15分)
 国道175号線、福知山市大江町へ



日本一の大鬼瓦

Tan-bou
 CO-OP
 発行：京都府生活協同組合連合会 〒604-0885-1 京都府京都市中京区烏丸東山角 せいきょうこ会館2階
 TEL 075(255)1555 FAX 075(255)1555
 URL http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail kyotofu-seikyoren@ma2.seikyoren.jp